

科目	中国語Ⅱ	担当	日下部 直美	履修学年	1年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	1単位

**【授業目標・到達目標】**

外国語学習では、単に言葉そのものを覚えるだけでなく、言語表現に現れるその文化やものの考え方、認識の仕方を理解していくことも重要なことと思われる。この授業では、基本的な中国語の構造、表現形式を理解するとともに、中国という国の文化的、歴史的、社会的方面に関しても理解を深めることができる。また、中国語学習においては、初級レベルでの音声面の習得も非常に重要であるため、411の音節が声調を伴って正確に発音できるようになることを到達目標とする。

**【履修注意】**

原則として前期科目の中国語Ⅰを受講していること。語学は継続が大事であるため、皆出席を心がけること。授業中の私語、携帯操作、居眠りは厳禁。遅刻は20分までとし、遅刻・早退・一時退室した場合は2回で1回の欠席とする。毎回教材を提出し、試験までにチェックを受けて合格すること。

**【評価方法】**

定期試験を70%、平常点(出席率・小テスト・授業に対する積極性等)を30%として評価する。

**【試験について】**

筆記試験を行い、持ち込み不可とする。欠席が6回以上の者は期末試験を受験することができない。再試験対象者の条件: 期末試験を受験していること。

**【予習・復習】**

語学は継続した自主学習が必要である。予習・復習として、単語・本文の意味を確認しながら、発音練習を中心に行うこと。

**【教科書】**

書籍名:『星城大学『中国語Ⅰ・Ⅱ』教材テキスト』著者:日下部 直美・林 佩芬

**【参考書】**

①書籍名:『中日辞典(第三版)』出版社:小学館 ②書籍名:『講談社 中日辞典(第三版)』出版社:講談社

**【その他の注意事項】**

**【授業計画・内容】**

回数	項目	内容
1	第7課①	助動詞“要”、数詞(2)、比較の“比”
2	第7課②	文法のまとめ、練習問題
3	第8課①	助動詞“想”、助動詞“可以”、“有点儿”と“一点儿”
4	第8課②	文法のまとめ、練習問題
5	第9課①	進行を表す“在”、動詞の重ね型、連動文、禁止の言い方
6	第9課②	文法のまとめ、練習問題
7	第10課①	可能を表す助動詞“会”、可能を表す助動詞“能”、前置詞“在”
8	第10課②	文法のまとめ、練習問題
9	第11課①	経験を表す“過”、完了・実現を表す“了”、“~的話”の表現
10	第11課②	文法のまとめ、練習問題
11	第12課①	前置詞“把”、文末の“了”、結果補語
12	第12課②	文法のまとめ、練習問題
13	第13課①	様態補語、“了”が2つある文、“(是)~的”の表現
14	第13課②	文法のまとめ、練習問題
15	第7課～第13課までの復習	第7課～第13課までの復習
16	期末試験	復習・確認・総まとめ